

『伊豆の国市の子供たち』 令和6年度全国学力・学習状況調査結果

4月に全国学力・学習状況調査が実施されました。今年度は小学校6年生では国語・算数、中学校3年生では、国語・数学の調査となりました。教科に関する調査結果や、児童・生徒質問紙調査結果から、伊豆の国市の子供たちの良いところや今後の課題についてまとめました。

教科・領域別 平均正答率

小学校6年生 (平均正答率)				中学校3年生 (平均正答率)			
	伊豆の国市	静岡県	全国		伊豆の国市	静岡県	全国
国語	66.0%	67.0%	67.7%	国語	57.0%	59.0%	58.1%
算数	60.0%	62.7%	63.4%	数学	51.0%	55.0%	52.5%

【国語】 小学校では、文章を正しく直したり、表やグラフなどを用いて自分の考えを文章にしたりする技能が身についています。誤字を正しい漢字に直すことや提示されている資料を活用して、自分の考えがより相手に伝わるように表現を工夫していくことについて課題が見られます。中学校では、文章から必要な情報を読み取り、知識を結び付けて自分の考えを伝えることができます。複数ある情報から必要な情報に着目して文章を要約することに課題が見られます。

【算数・数学】 小学校では計算や図形、中学校では正の数、負の数や関数など、小中ともに基本的な知識が概ね身につけていますが、基礎基本の定着は引き続き力を入れていきたいところです。中学校では、数学を活用して物事を論理的に考察したり、表現したりすることに課題が見られます。また、小中ともに各種の問題において無回答率がやや高い傾向にありました。



小学校算数の出題から、子供たちに求められている力を見てみましょう。

この問題は示された桜の開花予想日の求め方を基に、開花予想日を求める式を選び、開花予想日を答える問題です。



示された情報を基に、表から必要な数値や情報を読み取る力が必要です。また、式に表すことも求められています。

(4) こうたさんは、3月19日の卒業式の日までに、桜が開花してほしいと思っています。
桜がいつ開花するか知りたいと思い、桜の開花予想日について調べたところ、下のような桜の開花予想日の求め方を見つけた。

桜の開花予想日の求め方

- 2月1日から、毎日の最高気温の数値をたしていく。
- 毎日の最高気温の数値をたした答えが、初めて600以上になったその日を桜の開花予想日とする。



今日は3月16日です。桜はまだ開花していません。

桜の開花予想日の求め方①のように計算すると、3月15日までの最高気温の数値をたした答えは549でした。
3月16日からの最高気温の予想は、下の表のとおりです。

3月16日から3月19日までの最高気温の予想					
日にち	3月16日	3月17日	3月18日	3月19日	
最高気温(度)	21	20	15	14	

こうたさんは、3月16日以降は予想どおりの最高気温になるとして、桜の開花予想日の求め方を使って、桜の開花予想日を求めました。
桜の開花予想日について、次のようにまとめることができます。

最高気温の数値をたしていった答えが、初めて600以上になる式は、 $549 + \text{○}$ だから、
桜の開花予想日は3月 ㊦ 日です。

上の○に入る式を、下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、上の○に入る数を書きましょう。

- $549 + 21$
- $549 + 21 + 20$
- $549 + 21 + 20 + 15$
- $549 + 21 + 20 + 15 + 14$

回答例 答え…○に入る式は3 ㊦開花予想日は3月18日

問題を丁寧に読み取り、何を求めなくてはいけないか、そのために必要な情報だけを取捨選択することが大切

伊豆の国市の児童・生徒質問紙結果の概要

よい表れ

- ・自分には良いところがある。先生は自分の良いところを認めてくれている。
→クロス集計の結果を見ても、肯定的に自分を捉える子供たちは学力調査の正答率も高い傾向にあります。
- ・学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができる。
→肯定的に回答している子供の正答率は高い傾向にあります。多様な見方や考え方を出し合うことで新たな問いが生まれ、思考や判断の再構成につながり、子供の学びの深まりが高まります。
- ・普段の生活において幸せな気持ちになることがよくある（肯定的な意見9割以上）
→互いに認め合い、安心感を得て生活していることが分かります。家庭で学校で地域で子供たちを見守り、安心で安全な生活環境を継続していきたいです。

課題となる表れ

- ・規則正しい生活を心がけましょう
→起床時間、朝食摂取、就寝時間が不規則になっている傾向があります。規則正しい生活が、心身の安定につながり、自己や他者との関係を安定したものにしていきます。
- ・平日にゲームやSNSなどに2時間以上費やす児童生徒が過半数を超えている。
→使用時間等のルールを親子で決めましょう。時間の使い方を考え、コントロールする力を身につけていきます。
- ・読書に親しんだり、新聞を読んだりする機会がある。（全く読まない児童生徒8割）
→語彙の量は学力にもよい影響を与えています。知識だけではなく、興味関心の幅が広がり、思考力の形成にもつながります。伊豆の国市では全校に司書を配置しています。

今、求められている力を育むために…

- ★学校では、「自ら解決したくなるような問いや課題を設定し、主体的に学ぶ授業づくり」に取り組んでいます。新しい学力観に基づき、子供たちが「自分ごと」として主体的に学ぶことができるように、子供の視点を大切にした授業改善を進めていきます。家庭での学習についても、いろいろ試してその子にあった方法を探してみましょう。
- ★ICTを活用して、目標（めあて・ねらいや子どもたちに付けたい資質・能力）を明確にし、どんな力が身についたのかをきちんと振り返る場を位置づけたり、友達との対話から新しい考えを生み出したりすることができるように見通しが持てる授業を目指していきます。家庭では、時間の使いかたを一緒に考えていきたいところです。生活習慣を見直し、時間の使い方を親子で一緒に考えて、子供自身が納得できるようにしていくことが大切です。
- ★郷土を大切にし、誇りを持てる人を育てるために、家庭や地域と連携しながら開かれた学校づくりに努め、子供たちが活躍できる場を増やしていきます。
- ★「学習状況調査」の結果から、子供たちの良いところを認める方針がよい結果をもたらしていると考えています。お子さんの話を最後まで聞いたり、意見を尊重したりすることが自己肯定感の向上につながります。ご家庭でも取り組んでみてください。